

東北地方交通審議会  
第196回船員部会

議事要録

令和7年2月28日  
東北地方交通審議会  
船員部会事務局

# 東北地方交通審議会 第196回船員部会

日 時 令和7年2月28日(金) 13:30～

場 所 Web開催

出席者 公益委員：阿部部会長、増田部会長代理、豊田委員、鈴木委員

労働者委員：甲斐委員、高橋委員、奈良委員

使用者委員：千葉委員、平岡委員、村上委員

運輸局：真田海事振興部長、鈴木海事振興部次長、

沼澤船員労働環境・海技資格課長

柳松船員労政課長、田口専門官、高橋労政係長

1. 開 会

2. 議 題

(1) 管内の雇用等の状況について

(2) 情報提供について

(3) その他

3. 閉 会

(資料)

資料1 船員職業安定業務取扱状況説明資料(12月分)

資料2 新規求人・求職数(東北管内:3年対比)

資料3 有効求人・求職数(東北管内:3年対比)

資料4 新規求人・求職数(全国)

資料5 有効求人・求職数(全国)

資料6 有効求人倍率(東北管内)

資料7 有効求人倍率(全国)

資料8 令和6年度 就職内定状況調査集計表

資料9 令和7年度 東北地方交通審議会船員部会 開催(確定)

参考資料 令和7年度 海事局関係予算決定概要

◎開 会

【鈴木海事振興部次長】

〔第196回船員部会の成立状況について報告〕

〔配布資料確認〕

◎議 事

【阿部部会長】

それでは、本日もよろしくお願ひいたします。

早速、議事に入りたいと思います。

お手元の議事次第の「議題（１）管内の雇用等の状況について」、事務局から報告をお願ひいたします。

〔柳松船員労政課長から資料１～７に基づき説明〕

【阿部部会長】

ありがとうございました。

ただいま資料１から資料７まで、一部省略して報告がありましたが、ただいまの報告内容について、何か皆さんからご意見あるいはご質問等がありますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、ないようですので、ご了承いただいたものといたします。

続きまして、「議題（２）情報提供について」に入ります。

委員の皆様から情報提供をいただきたいと思います。

初めに、労働者委員からご発言をお願ひいたします。

まず、高橋委員、お願ひします。

【高橋労働者委員】

私からは他地区の最低賃金の結果について報告いたします。

1月27日、四国漁業の沖合底びき網と大中型まき網が、沖合底びき網漁業が8,000円引き上げまして19万9,800円。大中型まき網は1万円改定しまして21万3,300円。大中型まき網の豊後

水道は6,500円引き上げまして20万5,800円で決まっております。

次に、中部漁業（沖合底びき網）は、2月4日、改定額が1万円引上げの一人代22万4,000円。2月4日の同じ日ですが、大中型まき網も1万円引上げの22万6,000円。中部海上旅客運送業は、職員、部員とも9,100円引上げの職員が26万4,700円、部員が20万2,450円で決まっております。

以上です。

#### 【阿部部会長】

ありがとうございました。

続きまして、甲斐委員、お願いします。

#### 【甲斐労働者委員】

八戸地区の状況です。

八戸地区の中型いか釣り漁船ですが、本年度の操業を終えて、全船切り上げております。

それから、八戸船舶乗組員養成協会で行っている海技免状の講習ですが、3月3日に講習が終了いたしまして、その後、臨時試験ということになります。今年度は4級の航海が7名、4級の機関が8名、5級機関が1名ということで受講をいたしております。

どの程度合格者が出るのか分かりませんが、漁船の船舶職員を養成し後継者の確保・育成にもつながるものでありますので、継続した取組をお願いしたいと思っております。

以上でございます。

#### 【阿部部会長】

ありがとうございました。

続きまして、奈良委員、お願いいたします。

#### 【奈良労働者委員】

気仙沼地区の情報について、1点ご報告いたします。

気仙沼のみらい造船で建造されました遠洋まぐろはえ縄漁船、女川の鈴幸漁業、第三明神丸497トンが建造完成し、進水いたしました。今後につきましては、4月以降にインド洋で操業を予定しております。

以上でございます。

**【阿部部会長】**

ありがとうございました。

ただいま3名の委員の方からご発言いただきましたが、ほかに労働者委員の方々から補足することはありますでしょうか。よろしいですか。

それでは、ないようですので、次に使用者委員からご発言をお願いいたします。

まず平岡委員、お願いいたします。

**【平岡使用者委員】**

日本内航海運組合総連合会のまとめた2024年の内航貨物船輸送量は、前年比3%減の1億9,823万6,000トンでした。自動車は認証不正問題による一部メーカーの生産停止の影響で荷動きが落ち込み、前年比11%減となりました。また、建設市場の停滞で需要が鈍いセメントも荷動きの低迷が続き、前年比8%減となっております。

一方、鉄鋼や燃料は前年を上回りました。鉄鋼は前年比4%増、石炭やコークスの燃料は前年比12%増となりました。

それからもう1点ですが、海事振興連盟が昨年6月に酒田で開催したタウンミーティングを、今年は青森市で開催するという情報が入っております。青森港開港400年ということで、青森市から強い要望があったそうです。開催日は9月12日金曜日から13日土曜日、もしくは9月19日金曜日から20日土曜日で検討されているようです。東北運輸局さんには情報が入っておりますでしょうか。

以上です。

**【阿部部会長】**

ありがとうございました。

続きまして、千葉委員、お願いいたします。

**【千葉使用者委員】**

先般の知床事故を受けて、海上運送法の改正が順次なされておりますが、その中の一つであります安全統括管理者及び運航管理者は、今年4月からそれぞれの資格者証を有する者から選

任しなければならないということで、資格者証を取得するためには、必要な試験に合格した上で、試験の区分に応じた実務経験が必要になるということから、今年4月よりその試験が順次行われることとなっております。

それで、令和7年4月から試験が実施されますが、令和8年度は経過措置期間、その後、令和9年度から全て適用になりますので、それまでに合格しなければ安全統括管理者及び運航管理者には選任することができなくなってしまいます。

こういうこともあり、国土交通省から試験の問題例が今回公表されています。

以上です。

#### 【阿部部会長】

ありがとうございました。

続きまして、村上委員、お願いいたします。

#### 【村上使用者委員】

先週2月22日の土曜日、東京の大田区で開催された漁業就業支援フェア2025冬に参加してきました。このフェアは、主催が一般社団法人全国漁業就業者確保育成センター主催、水産庁が後援ということで開催されました。漁船員、漁業に従事したい方を対象として行われ、ブースは北海道から沖縄まで全国の漁業会社、各地の漁協など、出展数は50のブースとなりました。来場者数は、後日の報告で172名がとのことでした。

会場へ来た方を見ると、中学、高校、大学生、親を同伴した小学生、一般の社会人まで年齢層にも随分幅がありました。わざわざこのようなフェアに足を運ぶということで、就職や転職、自分の今後の将来を真剣に考えて来場しているというのをすごく感じ、冷やかしかかんとなく来たという雰囲気の方は、ほとんどいないように感じました。そのような方たちの来場でしたので、こちらも本気で相談に乗ることができました。1人30分ぐらいを目安ということでしたが、なかなか話をしてみるとあっという間に過ぎ、時間も不足というような感じでした。

現在、漁船乗組員の数のもものすごく不足していて、今後も減少に拍車がかかっていくという状況にあります。久しぶりにこのようなフェアに参加しましたが、対面で真剣に話し合うことができ、本当に有意義な催しだったと思います。今後、日本の漁業、海運業を支える船舶従事者を増やすためには、このようなマッチングフェアというものはすごく有効だと改めて感じました。希望としては、年間の開催数や場所も限られているということで、規模が小さくても

いいのでフェアの回数を増やし、場所も全国各地で行えないものかと感じました。

それから、前回は話をしましたが、ブースに来られた方に聞くと、このフェアへはネットで探し参加したという方がほとんどでした。

以上です。

**【阿部部会長】**

ありがとうございました。

ただいま3名の使用者委員から情報提供をいただきましたが、ほかに使用者委員の方から補足事項はありましたでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、真田海事振興部長お願いします。

**【真田海事振興部長】**

先ほど平岡委員からお話のございました青森のタウンミーティングでございますが、開催の動きがあるということは承知しておりますが、正式に国土交通本省の海事局からの情報はまだ来ていないところでございますので、また分かり次第、何かの折にお話しできればと思います。

以上です。

**【阿部部会長】**

ありがとうございました。よろしいでしょうか。

ほかに何か補足事項はありますでしょうか。よろしいですか。

ないようですので、ただいま6名の方々から情報提供がありましたが、情報提供全般について、何かご意見あるいはご質問等がありましたら、よろしく願いいたします。

それでは、ないようですので、次に移りたいと思います。

「議題（3）その他」に入ります。資料8「令和6年度就職内定状況調査集計表」について、事務局から報告をお願いいたします。

〔柳松船員労政課長から資料8に基づき説明〕

**【阿部部会長】**

ありがとうございました。

ただいまこの調査集計表の、卒業予定者の中身や内容も含めて説明がございました。ただいまの内容について、何かご意見、ご質問はありますでしょうか。よろしいですか。

甲斐委員、お願いします。

**【甲斐労働者委員】**

ちょっと聞き逃したのかもしれないので教えてください。卒業予定者数で572名の方が卒業されるということですが、この卒業予定者数の中には専攻科を卒業された方も含まれているのか、含まれていない数字なのか教えていただきたいのと、含まれていないということであれば、この54名の方が海洋系の大学や専攻科へ進学しているということと9.4%が進学したということになるのでしょうか、この卒業予定者数の中に専攻科の卒業者が入っているということになると、またちょっと違う数字になるのかなと思うのですが、これについてはいかがでしょうか。

**【阿部部会長】**

ただいま質問が2点あったと思うのですが、いかがでしょうか。

**【真田海事振興部長】**

こちらの卒業予定者数には、専攻科の方も入っているという数字になっております。入っているということで、甲斐委員の2つ目の質問についても回答できていると思いますが、それでよろしいでしょうか。

**【阿部部会長】**

甲斐委員、いかがでしょうか。

**【甲斐労働者委員】**

ありがとうございます。では、572名の中に専攻科の人たちが全員含まれており、内定数も全て専攻科の方も含まれているということによろしいですね。



**【真田海事振興部長】**

はい、そうです。

**【甲斐労働者委員】**

分かりました。ありがとうございます。

**【阿部部会長】**

ありがとうございました。

ほかに何かご質問はありますか。

それでは、ないようですので、続きまして資料9「令和7年度東北地方交通審議会船員部会開催（確定）」について、事務局から報告をお願いいたします。

**【鈴木海事振興部次長】**

先月の部会で令和7年度の開催案を示させていただきました。その際、平岡委員から11月及び2月が最終日になっていることから、変更の検討をできないかと提案いただいたところですが、当部における行事予定を、この部会の日程も踏まえて立てている関係上、大変申し訳ないですが、令和7年度は先月の案のとおり開催日を確定させていただきたいと思います。

また、その後に平岡委員から、最終日の場合、万が一その日に急遽開催ができなくなった場合は日程の振替が利かず、月1回開催が崩れてしまうというお話を頂戴いたしました。この点につきましては、大変申し訳ないですが、令和8年度の開催予定を計画する際に検討し、日程を組み立てたいと思っております。

ということで、令和7年度はこのとおりで開催をさせていただければと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

以上でございます。

**【阿部部会長】**

ただいまの報告内容について、何かご意見、ご質問はありますか。

平岡委員、よろしいでしょうか。いかがでしょうか。

**【平岡使用者委員】**

よろしいです。

**【鈴木海事振興部次長】**

ありがとうございます。

**【阿部部会長】**

高橋委員、どうぞ。

**【高橋労働者委員】**

2月は対面になっていますが、もし委員がそろわなければ、これは流れるという理解でいいですか。

**【鈴木海事振興部次長】**

事前に出欠を取らせていただいておりますので、もしこの日の成立が難しいとなれば、別日の提案をさせていただくことになろうかと思えます。ですので、27日より前の日付で可能かどうかというところを諮ることになろうかなと思えます。

**【高橋労働者委員】**

はい、分かりました。

**【阿部部会長】**

ありがとうございます。

ほかにご意見あるいはご質問はありますか。

ないようですので、次に、船員の最低賃金改正に係る意見に関する公示結果について、事務局から報告をお願いします。

**【鈴木海事振興部次長】**

それでは、続けて鈴木のほうからご報告いたします。

船員の最低賃金改正に係る意見に関する公示については、官報掲載及び当運輸局管内の庁舎

等への掲示により、2月6日から20日までの15日間行いましたが、2月20日までに東北漁業の沖合底引き網の改正について、関係者より異議申し出に関する書面の提出があったところです。

そこで、この申し出に対応するための今後の手続きとしまして、東北運輸局長から東北地方交通審議会会長に対し、申し出に関しての審議会の意見について諮問し、船員部会において審議、その結果を局長へ答申することになります。

船員部会での審議については、諮問等の手続きに要する時間などを考慮すると、次回3月21日の部会にて行っていただくことを予定しています。

また、今回申し出があったことによる審議が追加されることにより、当初予定していました3月中の効力発生が、1ヶ月程度ずれ込むこととなりますので、恐れ入りますがご理解・ご了承のほどお願いいたします。

以上でございます。

#### 【阿部部会長】

ただいまの報告内容について、何か皆さんからご意見あるいはご質問はありますか。よろしいでしょうか。

それでは、先ほど説明がありましたとおりの流れで今後進めさせていただきたいと思います。ありがとうございました。

ほかに今日の部会全般について、委員の皆様から何かありますか。

ないようですので、それでは、本日の議事は終了といたします。

次回の船員部会は3月21日金曜日13時30分から、対面での開催になります。

最後に、事務局から連絡事項等がありましたらお願いいたします。

#### 【鈴木海事振興部次長】

再び鈴木からご連絡申し上げます。

事務局からは、令和7年度海事局関係予算の決定概要と議事要録についてのご連絡になります。参考資料として、ホチキス留めのものをお配りしております。

令和7年度海事局関係予算の決定概要につきましては、船員部会に関係する主なものとして、19ページにあります海技教育機構経費として、練習船の船体や機器整備、老朽化が進む校舎の安全性確保等のための予算づけがされております。

それから、続く20ページでは船員の確保・育成体制の強化としまして、海運の担い手である

内航・外航船員の確保・育成のための予算措置もされておるところでございます。

最後、27ページでは、特に若年層に海洋や海事産業への関心を持ってもらうための海洋教育推進事業と、海の日関連イベントの開催やオンラインでの情報発信により、海や船への関心を喚起するための海洋・海事への関心と理解促進に向けた取組という予算が計上されております。

そのほかいろいろ予算措置がございますので、詳細につきましてはお時間のあるときにご覧いただければと思います。

次に、議事要録についてですが、本日の部会資料と一緒に郵送しております1月開催の第195回議事要録案につきまして、内容をご確認いただき、修正等がありましたら、時間が短く恐縮ですが、3月7日金曜日までにご連絡いただきますようお願いいたします。

また、ご確認をお願いしておりました第194回議事要録案につきましては、修正等のご連絡はありませんでしたので、今回郵送した議事要録で確定版とさせていただきます。

それでは、以上をもちまして、本日の船員部会を終了いたします。

皆様大変お疲れさまでした。ありがとうございました。